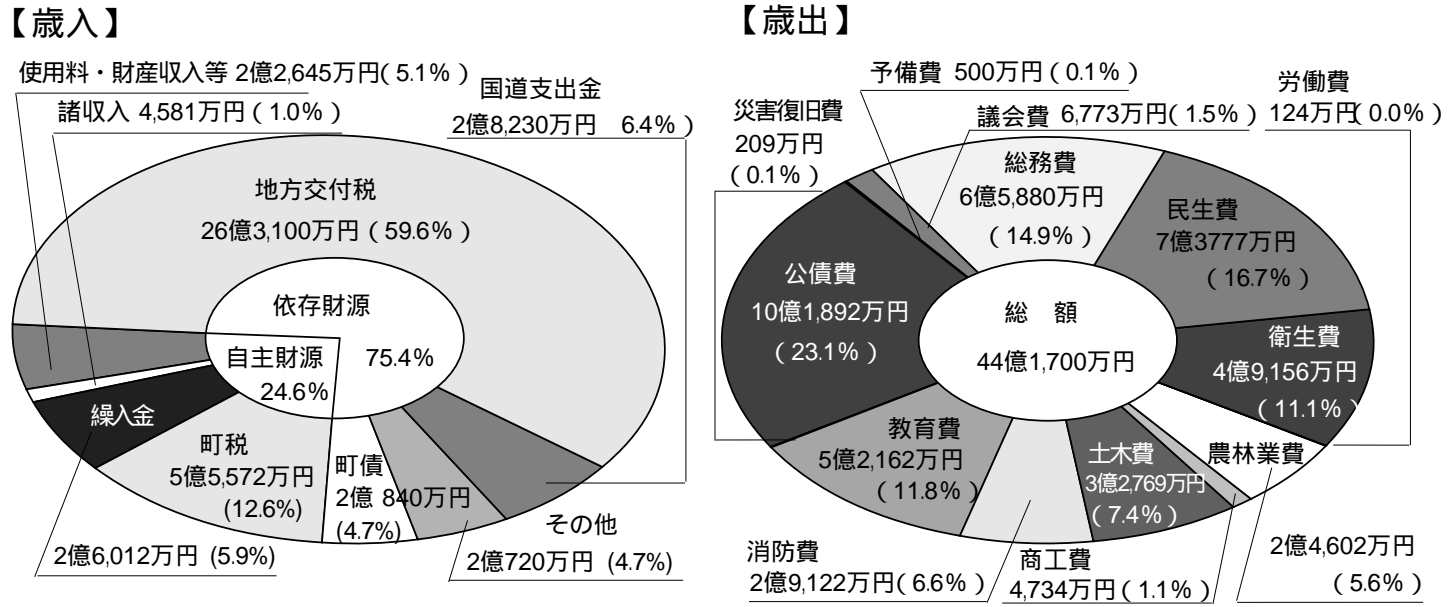




# 歩いて暮らせるまちづくり 71億円の使い途



グラフ1 一般会計予算額の科目別内訳



【表2】(一般会計分) 町民1人当たり予算額

**723,861円**

平成20年2月末現在の住民基本台帳人口6,102人で計算しています。

|        |          |       |         |          |          |         |
|--------|----------|-------|---------|----------|----------|---------|
| 商工費    | 農林業費     | 労働費   | 衛生費     | 民生費      | 総務費      | 議会費     |
| 7,759円 | 40,317円  | 203円  | 80,557円 | 120,907円 | 107,965円 | 11,099円 |
| その他    | 公債費      | 災害復旧費 | 教育費     | 消防費      | 土木費      |         |
| 819円   | 166,982円 | 342円  | 85,483円 | 47,726円  | 53,702円  |         |

平成20年度の町の予算が、町議会の審議を経て決定しました。予算の総額は71億970万円で前年度比133%の大幅減となりました。主な原因は後期高齢者医療事業への移行に伴う老人保健事業特別会計の縮小と簡易水道事業特別会計の事業費の減です。また、行政サービスの中心となる一般会計は、44億1,700万円で前年度比0.4%の増。特に長期総合計画や住宅マスタープランなどを計画しながら、懸案だった公共施設の改修を行っていきます。町は、厳しい財政状況の中で、対話を進めながら人口減少社会に対応する歩いて暮らせるまちづくりを推進していきます。今の特集では、このまちづくりを進めていく、町の予算内容について紹介します。

表1 平成20年度会計別予算額の内訳

| 会計名           | 予算額        | 前年度比   |
|---------------|------------|--------|
| 一般会計          | 44億1,700万円 | 0.4%増  |
| 特別会計          |            |        |
| 国民健康保険事業特別会計  | 9億5,480万円  | 4.6%減  |
| 老人保健事業特別会計    | 1億170万円    | 91.3%減 |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | 8,220万円    | 皆増     |
| 介護保険事業特別会計    | 4億4,500万円  | 0.8%減  |
| 介護サービス事業特別会計  | 2億8,510万円  | 2.5%増  |
| 下水道事業特別会計     | 5億1,370万円  | 7.5%減  |
| 簡易水道事業特別会計    | 4,910万円    | 64.7%減 |
| 企業会計          |            |        |
| 上水道事業会計       | 2億6,110万円  | 28.2%増 |
| 合計            | 71億970万円   | 13.3%減 |

**一般会計** 前年度対比で 0.4%の増

町の予算は「一般会計」「特別会計」「企業会計」に別れています。その中でも町民の生活全般にわたる施策を行うために経理するのが「一般会計」です。

平成20年度の一般会計の予算額は、左表1のとおり44億1,700万円で対前年度比0.4%の増になりました。今回は20年度地方財政計画に基づき歳入歳出の精査と見直しを行い、そのものの必要性を検討しました。

**特別会計** 後期高齢者医療事業会計が創設

7つの特別会計は、後期高齢者医療制度の移行と制度改正で国民健康保険事業と老人保健事業が減少。下水道事業は下水道管理センター機器更新整備事業、簡易水道事業は相浄化場ろ過施設設置工事の完了などで前年度より減となりました。

また、上水道事業の企業会計は、建設改良費が増額となり、平成20年度予算総額は、71億970万円となりました。

**依存財源** 歳入の約6割を占める地方交付税

一般会計予算額を科目別にみたのが、上のグラフ1で歳入は左の円グラフです。国から交付される地方交付税が26億3,100万円で(前年対比2.6%増)歳入の59.6%を占めています。これに国道支出金、地方譲与税、町債などを加えたのが依存財源といわれているもので、歳入全体の75.4%を占めています。

一方、自主財源のうち町税は、5億5,722万円で前年度比1.8%の増額になりましたが、19年度決算額より減少しています。また、基金繰入金は極力抑え、前年度より19.6%減の2億6,012万円となりました。この取り崩しで20年度末の一般会計分の基金残高は、積立分も含め22億8,226万円となる予定です。

**町予** 町民一人当たり 予算額72万4千円

その右の円グラフは歳出を科目ごとに表しています。歳出の23.1%を占める公債費は、各種事業を実施したときに借入れたお金の償還金で約10億1,892万円を支払うこととなりますが、昨年度から比較すると約4,800万円減額に

なっています。

総務費では第5次総合計画策定審議会委員経費154万円と策定作業に伴うワークショップとフォーラム経費に389万円、森の健康館屋根塗装工事に591万円、民生費では後期高齢者医療事業に係る各市町村の負担金として8277万円を計上しました。農林業費ではペレットストーブを2台購入して普及を図る木質バイオマス資源活用促進事業に106万円、土木費は、除雪グレーダーの更新に3389万円と住宅マスタープラン策定に602万円、消防費は消防ポンプ車の購入2497万円と消防庁舎外壁塗装工事に1612万円を計上しました。教育費では放課後児童クラブ経費718万円と放課後子ども教室経費に366万円、本岐小学校教育用コンピュータ整備事業に240万円を計上しました。このほかの主要な事業については、4ページをご覧ください。

また、上の表2は、今年の一般会計の予算額を町民一人当たりで割り返した金額です。6,102人の町民一人当たり金額は、72万3,861円になります。それぞれの科目に振り分けられた予算は、まちづくりやみなさんの暮らしを豊かにするため大切に使われます。